

2020年7月7日

日本銀行大阪支店

## 関西金融経済動向

### 【全体感】

関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化した状態が続いている。

輸出は、減少している。設備投資は、増勢が鈍化している。個人消費は、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、サービスを中心に大幅に減少した状態が続いている。住宅投資は、緩やかに減少している。公共投資は、増加している。こうした中で、生産は、減少している。雇用・所得環境をみると、弱い動きとなっている。この間、企業の業況感は、大幅に悪化している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症が、当地の経済金融情勢に与える影響などを注視していく必要がある。

### 【各論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、減少している。

設備投資は、増勢が鈍化している。

個人消費は、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、サービスを中心に大幅に減少した状態が続いている。

家電販売額は、下げ止まりつつある。スーパー等販売額は、減少している。百貨店販売額は、大幅に減少した状態が続いているものの、足もとでは下げ止まりの兆しがみられている。乗用車販売、旅行取扱額、外食売上高は、大幅に減少した状態が続いている。

住宅投資は、緩やかに減少している。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、減少している。

内訳をみると、輸送機械関連を中心に幅広い業種・品目で減少している。

### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、弱い動きとなっている。

### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%程度となっている。

### 5. 企業倒産

企業倒産は、総じて低水準で推移しているが、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響が一部にみられている。

### 6. 金融情勢

預金残高は、法人預金や個人預金の伸び率拡大を背景に、前年比5%台後半のプラスとなっている。

貸出残高は、企業向けの資金繰り支援融資の増加を主因に、前年比5%台半ばのプラスとなっている。

預金金利は、低水準で推移している。

貸出金利は、低下している。

以 上